イワタニゲートウェイ 無線連動型 ガス検知部(LPガス用)

取扱説明書 [保証書付]

このたびは、ガス検知部(LPガス用)をお買い求め いただきありがとうございます。

で使用になる前に、この取扱説明書を最後まで お読みいただき、正しくお使いください。 お読みになった後は、お使いになる方がいつでも 見られるところに、必ず保管してください。 なお、万一、本書を紛失されたときは、お買い求め の販売店にお問い合わせください。



■ このガス検知部は家庭用です。家庭用以外には使用しないでください。

: ● このガス検知部はプロパンガス、ブタンガスなどの液化石油ガス (以下LPガス) を検知します。都市ガスをご 使用のご家庭には、都市ガス用のガス警報器を設置してください。

● 不完全燃焼および酸素欠乏による中毒防止用ではありません。

● ガスもれの発生を未然に防止する装置ではありません。ガスもれなどによる損害については、責任を負いか ねますのでご了承ください。

● ガス検知口にガスが到達しないときは、警報機能が働きません。

● 本機はネットワーク機能付無線連動型 ゲートウェイ本体RP-692 (以下ゲートウェイ本体) と連動してご使 用ください

※本機を単体で使用することも可能です。

総発売元 岩谷産業株式会社 新コスモス電機株式会社

〒 532-0036 大阪市淀川区三津屋中 2-5-4 TEL 06(6308)3155(代)

ガス検知部(LP ガス用) _____ 保証 書 _____ 保証 書 _______ 型式 XL-692 このたびは、ガス検知部をお買い求めいただきありがとうございます。この製品は高圧ガス保安協会の検定に合格したものであります。従って正常 な使用状態での故障の心配はありませんが、万一、保証期間中に異常を生じた場合は、速やかにお買い求めの販売店に連絡し本書を提示してください 次の要領で下記の者が点検または交換いたします。 ● 保 証 期 間 ガス検知部本体に表示された交換期限の期限内。 ● 保 守 点 検 ガス検知部の異常等のお申し出がありました際 に無償で次の保守点検をいたします。 (1) 点検具を使用しての動作確認。 ● 保証の範囲 保証は機器本体を対象とします。機器本体以外に じた損害は、本保証書に定められた保証の対象 誤報発生の有無の確認 (聴取による)。 ではありません。 ● 保 証 適 用 取扱説明書に基づき正しく使用され、故障が製造 の青任による場合は無償で交換します。 ● 保証適用除外 以下の保証の適用除外項目に記載してある事項の場合。 (実施者) 販売者 (❶ 販売者さまは必ず記入してください) 岩谷産業株式会社 37mで・ (1) ガス検知部の動作確認は、付属の点検ガス採取器で点検 製造元 新コスモス電機株式会社 (2) 本書は再発行しません。紛失しないように大切に保管し (保証の適用除外 保証の適用除外 この製品は保証期間内でも次のような場合、交換は有償となります。 (1) 使用者の故意または不注意によって生じた故障または損傷。 (2) 火災、天災、異常電圧、異常温度等の不可抗力による故障および損傷。 (3) 取付位置が屋外、高温多湿等著しく不適当な場所および浴室に取り付けた場合。 (4) LP ガス以外のガス、水や煮こぼれ等の液体、動植物による故障または損傷。 (5) その他使用上の誤り、分解、改造されたもの、衝撃等による故障または損傷。 (6) 本書の提示がない場合、ただし本書は日本国内のみ有効です。 (7) 本書に販売者の記入のない場合。 (8) その他時恵素と製造でおよび答案示の責任によらない活場、 (8) その他時恵素と製造でおよび答案示の責任によらない活場、故障または損傷。 てください。
(3) 交換期限を過ぎたものは保証いたしません。ガス検知部は安全を守るためのものですから、必ず新しいものとお取り替えください。
※ お客さまにご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無償点検・交換対応および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※ この保証書によって、保証書を行している美(保証書) ※ この保証書によって、保証書を発行している者(保証者) よびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権 その他販売者、製造元および発売元の責任によらない汚損、故障または損傷。 高圧ガス保安法に基づいて設置されたガス検知部の場合。 利を制限するものではありません。 * This warranty is valid only in Japan (10)家庭用以外の用途で使用された場合 (11) ガス検知部に故障が認められない場合 お客さま ご芳名 TEL ご住所

1. 安全上のご注意

で使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。 注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

↑ 危険 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。

↑ 警告 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

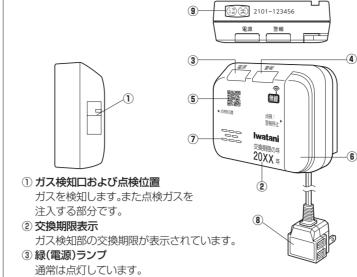
★ 注意 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内 窓をテレスいます。 容を示しています。

		転表示の内容		
り 「必ず行う」	「火気厳禁」	◎ 「ぬれ手禁止」	③ 「水ぬれ禁止」	

分解や改造はしないでください。 対障の原因となります 故障の原因となります。

衝撃を与えないでください。 故障の原因となります。

2.各部のなまえとはたらき



ガス検知部が故障しているときや、ゲートウェイ本体との通信エラーが 発生しているときに高速点滅します。

4 赤(警報)ランプ

ガスを検知すると赤ランプが点灯します。

⑤ 二次元バーコード ⑥ 警報停止スイッチ

警報中にスイッチを押すと、警報音を約1分間停止することができます。

⑦ 警報スピーカー

ガスを検知すると警報音が鳴ります。

⑧ 電源プラグ 消費電力が1490W以下の電気製品を接続できる予備コンセント付き

9 検定合格証 高圧ガス保安協会の検定に合格した商品であることを証明しています。

予備コンセントを使用する場合は

です。コード長さは2.5mです。

ガス検知部以外の電気製品を同時にご使用になる場合は、ガス検知部の プラグに付属している予備コンセントを使用することができます。

⚠警告

→ 予備コンセントに複数の電気製品を接続しないでください。 火災のおそれがあります。接続できるのは**1490W以下の電気製**

ガス検知部の電源プラグに大きな力をかけないでください。 (例えば掃除機などの移動して使用する電気製品を接続すること や、頻繁に抜き差しすることはおやめください。)

他の電気製品を予備コンセントに接続する場合は、電気製品の電 源スイッチを切ってから電源プラグの抜き差しを行ってください。 感電のおそれがあります。

3

■ランプ状態・表示内容について

ランプの動作は、事象によって下表のように表示されます。

事象		フンノ状態		#=##
		緑(電源)	赤(警報)	表示内容
電源を し れた	交換期限お知ら せ機能を有効に している場合	ゆっくり 点滅	消灯	1秒に1回点滅
さき	交換期限お知ら せ機能を解除し た場合	点滅	消灯	1秒に2回点滅 1秒 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
通常動作(監視時)		点灯	消灯	連続して点灯
警報時		点灯	点灯	連続して点灯
 交換期限を過ぎた場合		ゆっくり 点滅	消灯	2秒に1回点滅 ^{1秒} 1秒
牧障警報 ガス検知部が故障診断機能 こより故障と判断した場合)		高速点滅	消灯	1秒に4回点滅 + 1秒
デートウェイ本体と 通信エラーの場合		高速点滅	消灯	1秒に4回点滅

3.ガス警報機能

ガスがもれたときは

ガス検知部周囲のガスが規定濃度以上になると作動します。



緑(電源)ランプ、 .赤(警報)ランプ 点灯 ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれて いませんか

4.その他の機能

交換期限が過ぎたとき

【ガス検知部の交換期限が過ぎたとき】

ガス検知部の交換期限が過ぎると、ガス検知部の緑 (電源)ランプがゆっくり点滅#し、警報停止スイッチを 押すと「ガス検知部の交換期限が過ぎています 販売 店に連絡してください」と鳴ります。

ゆっくり点滅

緑(電源)ランプ

※ 販売店に連絡してください。

※ 交換期限お知らせ機能を解除している場合は鳴動しません。 緑(電源)ランプのゆっくり点滅もありません。

ゆっくり点滅

ランプが消灯から点灯、点灯から消灯へ連続的にゆっくり変化します。

故障しているときは

ガス検知部の緑(電源)ランプが高速点滅し「ピッピッ ピッ ガス検知部故障です」が鳴ります。その後に約 50秒おきに「ピッピッピッ」音が鳴ります。

警報停止スイッチを押すと、「ピッピッピッ ガス検 知部故障です」と1回お知らせします。以降「ピッピッ ピッ」音は36時間停止します。

※ 販売店に連絡してください。

無線通信がエラーになったとき

ガス検知部の緑(電源)ランプが高速点滅します。 警報停止スイッチを押すと、「ピッピッピッ ゲート ウェイ本体の電波が受信できません」と鳴ります。 ※販売店に連絡してください。



緑(電源)ランプ

高速点滅

5. ご使用方法

⚠警告



注意 ガス検知部の電源プラグや、予備コンセントに接続する他の電気

製品の電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでくださ コンセントへの差し込みがゆるいと、感電・ショート・発煙・発火

や、電源プラグ部分の過熱による焼損のおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、予備コンセントを触ったり ぬれた手で電源プ・ しないでください。

^{ぬれ手禁止} 感電するおそれがあります。 ガス検知部や電源プラグ(予備コンセントを含む)を水につけた

り、水をかけたりしないでください。 *ぬ^{れ禁止} 感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。

ガス検知部をお手入れするとき以外は、電源プラグを抜かないで

ください。

* <u></u> ガスを検知しても警報を発しません。

ガス検知部に耳を近づけて、警報音を聞かないでください。 聴力障害などの原因になるおそれがあります。

注意

ガス検知部の電源プラグに大きな力をかけないでください。 電源プラグやコンセントが破損するおそれがあります。

取付位置を移動させないでください。

警報の遅れの原因となります。 ☆ 止 取付位置を変える必要が生じたときは、販売店に連絡してください。

ガス検知部の近くでラジオなどを使用しないでください。 ラジオなどにノイズ(雑音)が入ることがあります。 ガス検知部から距離を離してお使いください。

ガス検知部の前、または周囲に物を置いたり、取り付けたりしない でください。

警報の遅れの原因となります。 またゲートウェイ本体との無線通信が妨げられ、通信エラーなど の原因となります。

必ずゲートウェイ本体の電源が入っていることを確認してください。 ゲートウェイ本体の電源が入っていないとゲートウェイ本体と無 必ず行う 線通信ができません。

ガス検知部の電源プラグをコンセントに差し込む。

緑 (電源) ランプがゲートウェイ本体と無線通信確立まで最大2分間ゆっ

※1:交換期限お知らせ機能を解除している場合は点滅します。



点滅→点灯

2 電源を接続してから最大2分以内に、「ガス検知 緑(電源)ランプ 部正常です ゲートウェイ本体の電波が受信で きています」と鳴ります。その後、電波強度に応じ て以下の3種類の音が鳴り、緑(電源)ランプが点 灯し、ガス検知部が監視状態に入ります。

【電波強度】 電波強度(強): 「ピーピーピー」 電波強度(中): 「ピーピー」 雷波強度(弱): [ピー]

※ 電波強度(中)(弱)ですと条件によっては通信エラーを起こす場合が ありますので、電波強度(中)(弱)の場合は販売店に連絡してください。 ※ ゲートウェイ本体と無線通信が確立できなかった場合は、緑(電源) ランプが高速点滅します。

警報停止スイッチを押すと、「ピッピッピッ ゲートウェイ本体の電 波が受信できません」と鳴ります。 販売店に連絡してください。

※ ガス検知部が故障の場合は、「ピッピッピッ ガス検知部故障です」 と鳴り、緑(電源)ランプが高速点滅します。 販売店に連絡してください。

6. 「ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』 と鳴ったときの処置のしかた

⚠危険

警報音が鳴っている間は、以 下の内容を必ず守ってくた さい。 爆発のおそれがあります。

マッチやライターなど、 火気を使わない。



換気扇、電灯、蛍光灯な ど、電気製品のスイッ チを入・切しない。



ドアや窓を開けて換気する。



2 ガス栓や器具栓を閉める。



らソケットをはずしてく 3 ガスがなくなれば、警報音が鳴り



4 ガスもれの原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外 れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消 えなどが考えられます。

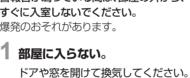


フ. 部屋の外から警報音に気づいたときは

「分解厳禁

<u>/</u>1.危険

警報音が鳴っている間は、部屋の外から、 すぐに入室しないでください。 爆発のおそれがあります。



☑ ガスメータ近くのメータガス栓を閉める。

おねがい たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点 検を受けてください。

 \bigcirc

「一般的な禁止」

Age Co



メータガス栓を開けるときは販売店にご連絡 ください。

3 ガスがなくなれば、警報音が停止する。

処置をしても、警報音が鳴りやまないときは 販売店へ連絡してください。



8. 異常がないのに警報音が鳴ったり、 赤(警報)ランプが点灯したとき の処置のしかた

ガス以外の空気の汚れで、警報音が鳴ったときは

〈警報音を止めたいとき〉

警報停止スイッチを押すと、 ● ガス警報の警報音は1回だけ1分

間止めることができます。 ※ ガス検知部周囲の空気の汚れが 十分換気できていない場合は、停 止時間経過後に再び警報音を発

ドアや窓を開け、しばらく 換気を続ける。

┛ ガス検知部周囲の空気の 汚れがなくなると、ランプ の点灯や警報音が止まる。

警報音が鳴った原因について

おねがい

いませんか。

します。

ガスもれではなく、空気の汚れなどにより、赤(警報)ランプが点灯し たり、警報音声が鳴る場合がありますが、すぐに鳴りやみますのでガス 検知部の電源プラグは抜かないでください。

- スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、ガス検知部にかけていません ● 芳香剤・香油 (アロマオイル) などの濃いガスがガス検知部にかかって
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していませんか。
- フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用していませんか。 ● 長時間、部屋を閉め切っていませんか。 ● みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、ガス検知部に大量にか
- かっていませんか。 ● 可燃性のガスなどを使用していませんか。
- ガス検知部の通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。それ以外で使用し

9. 点検方法

● 日常点検は、ランプが緑色に点灯していることを確認してください。

ランプが点灯していないと、ガスを検知しても警報を発しません。 ● 1ケ月に1度、警報停止スイッチを押してゲートウェイ本体との無線通 信の状態を確認してください。 ご不明の場合は、販売店に連絡してください。

作動点検

ガス検知部が正常に作動していることを確認するために、付属の点検ガス 採取器による点検を行ってください。

点検される際は、施工説明の「ガス警報機能の点検」を確認してください。

おねがい

● 点検ガス採取器は、お子さまの手の届かない場所で保管してください。 ● ガスを注入しても警報音が鳴らないときは、「14.アフターサービ

ス」をお読みください。 ● 点検ガスをかけ続けないでください。警報音が鳴りやまなくなること があります。

10. お手入れのしかた

火災の原因となります。

<u>/</u>|注意



がス検知部をお手入れするときは、必ず電源プラグを抜いてくだ さい 感電やけがの原因となります。

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを取り除いてください。

おねがい

● お手入れするときは、ガス検知部の内部に水が入らないように注意してくだ

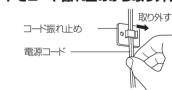
● アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどを 使うと、ガス検知部本体の表面を傷めることがありますので使用しな

● 中性洗剤などを使ったときは、ガス検知部本体の表面に傷がついたり、 しばらくランプが点灯したり、警報音が鳴りやまないことがあります。

10

お手入れの際のガス検知部の取り付け・取り外し 〈取り外しかた〉

電源コードをコード振れ止めから取り外す。

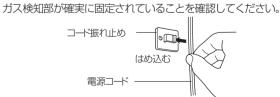




1 取付板にガス検知部を取り付ける。



2 電源コードをコード振れ止めにはめ込む。



お手入れ

● ガス検知部の表面が汚れた場合は、水または石け ん水で浸した布を、よくしぼってふき取ってくだ さい。取り付ける前にガス検知部がぬれていない

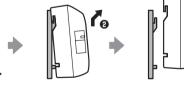
取ってください。

● ガス検知口に、ほこりやゴミがついていたら取り除 いてください。



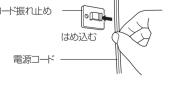
7 9





〈取り付けかた〉







ことを確認してください。 ● 電源プラグや取り付け面に付着したほこりをふき



11

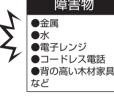
無線通信の不具合について

ゲートウェイ本体またはガス検知部の周囲に障害物があると、ゲートウェイ 本体とガス検知部の無線通信に不具合が発生する場合があります。 無線通信の不具合があった場合は、販売店に連絡してください。

(「8. 異常がないのに警報音が鳴ったり、赤(警報)ランプが点灯したと

きの処置のしかた」を参









処置をしても警報音が鳴りやまな

販売店にご連絡ください。

12. 交換期限

次の場合は、ペアリングができません。

動作後に監視状態に入ります。

5 取り付けかた

の原因となります。

付けないでください。

してください。

注意

⚠注意

態に入ります。

- 交換期限を過ぎたガス検知部は、規定の警報ガス濃度で警報を発しな いなど誤動作のおそれがありますので、ぜひ新しいガス検知部とお取り 替えください。交換期限は、ガス検知部本体に表示してあります。
- ガス検知部の交換期限を過ぎたときは、販売店までご連絡ください。

● ペアリングが完了していない状態で、60 秒経過した場合。

4 ガス検知部を単独で使用する場合

① ガス検知部をペアリングモードに設定してください。

初期タイマー動作後に監視状態に入ります。

5-1 ガス検知部を取り付ける前に

警報が遅れる原因になります。

5-2 ガス検知部の取り付け

いて、作業を行ってください。

感電・故障・誤動作の原因となります。

●電源コードの上に重いものを置かないでください。

無線通信に不具合が発生するおそれがあります。

●既存の金属製の取付板には取り付けないでください。

ルや釘などで固定しないでください。

緑(電源)ランプ、赤(警報)ランプが高速点滅し、「登録できません」

● ペアリング動作中にスイッチを短押しする(「**ピッ**」でスイッチを

※ ペアリングをやり直す場合は、最初の手順からやり直してください。

ゲートウェイ本体とペアリングされているガス検知部を単独で使用する場

合、ペアリングを解除する必要があります。以下の手順を行ってください。

③ゲートウェイ本体とのペアリングのしかた②を参照してください。

② ペアリング動作中に警報停止スイッチを 5 秒長押し(「**ピッ**| 「**ピー**

ピーピー」と鳴る)すると、ガス検知部のペアリング情報を消去し、

●ガス検知部の前、または周囲に物を置いたり、取り付けたりしな

またゲートウェイ本体との無線通信が妨げられ、通信エラーなど

●取付位置の材質・強度を確認し、土壁や強度の弱い合板には取り

●ピンを指に刺さないように、取り扱いには十分注意してください。

取付強度を保持するため、ピンは根元まで確実に打ち込んでください。

万一、ピンがゆるんだ場合は、取付位置をずらしてピンを付け直

●ガス検知部を取り付ける際には、電源プラグをコンセントから抜

●電気設備技術基準および内線規程により、電源コードはステップ

18

離す)と、緑(電源)ランプ、赤(警報)ランプが高速点滅し、「登

録できません」と鳴り、ベアリング動作を中止して、初期タイマー

と鳴り、ペアリング動作を中止して、初期タイマー動作後に監視状

13. 廃棄について

本ガス検知部の廃棄の際は、お住まいの市町村の廃棄物の処理方法にした がって廃棄してください。

14. アフターサービス

- ガス検知部に異常がある場合は、修理を依頼される前に「11.故障か **な?と思ったら**」の項目、処置をご確認ください。処置をしても異常があ る場合は販売店に連絡してください。
- 添付の保証書に基づき、保証期間はガス検知部本体に表示された交換 期限の期限内となります。 万一異常が生じた場合は、速やかにお買い求めの販売店に連絡し保証 書をご提示ください。 保証書の記載内容に基づき、販売店が点検または交換いたします。
- ●アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店に連絡
- 引っ越しをされるときは、販売店に連絡してください。

15. 無線を使用される際のご注意

- 本製品は電波法の工事認証を受けた特定無線設備を内臓しています。 ● 日本国内のみで使用できます。
- 分解や改造したり、無線認証ラベルを剥がしたりすると、法律で罰せら れることがあります。

16. 仕様

	項目	仕様		
対象ガス		LPガス		
検知方式		熱線型半導体式		
ガス警報	作動条件	*爆発下限界濃度の1/100以上1/4以下		
	表示· 発報方式	赤(警報)ランプ点灯		
		音声合成音		
	応答時間	30秒以内		
外部出力		無線式		
警報音量		70dB(A)/m以上		
電源		AC100V±10% 50/60Hz		
消費電力		監視時約0.7W、警報時約0.9W		
使用温度範囲		−10℃~+40℃ (結露しないこと)		
寸法		幅85×高さ67×奥行き30mm(突起部を除く)		
質量		約205g(取付板含む)		
電源コード		長さ2.5m予備コンセント付プラグ		
付属品		取付板×1、木ねじ(φ3.1×10mm)×4、 ピン×4、両面テープ×2、コード振れ止め×2 取扱説明書(施工説明・保証書付)、点検ガス採取器 警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカー		
無線		特定小電力無線 (920M-12帯テレメータ用、テレコントロール用及びデータ伝送用 無線設備の標準規格 ARIB STD-T108に準拠)		

爆発は、空気に対するガスの割合がある範囲になったときに起こる可能性があります。その範囲を爆発限界といって、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。

〈無線通信の不具合について〉

無線通信の不具合を解消してください。

ゲートウェイ本体

(RP-692)

13

ゲートウェイ本体またはガス検知部の周囲に障害物があると、ゲートウェイ

ゲートウェイ本体またはガス検知部の周囲の障害物を取り除く、または

障害物がない場所にゲートウェイ本体、およびガス検知部を設置して、

障害物

本体とガス検知部の無線通信に不具合が発生する場合があります。

●金属

●電子レンジ

● 取付位置は、P.15 「2-3 取付位置の確認」の正しい取付位置を守っ

の隙間などを確認して決定してください。

●壁面または台所設備の端より、

して取り付けてください。

① 取付板を取り付ける。

ださい。

に貼る。

固定する。

ガス検知部左端を 1cm 以上離

警報の遅れの原因になります。

〈木質壁・コンクリート壁の場合〉

取付板を付属の木ねじ(長さ

10mm、2本)で壁面に固定

※コンクリート壁の場合は、

1)取付位置のゴミや水気、油

2) 両面テープの片面のはくり

3)取付板に貼った両面テープ

取付板を付属の固定ピン(左右

4ヶ所)で壁面に打ち込んで、

はがして壁面に貼る。

〈石膏ボード壁の場合〉

紙をはがして取付板の裏側

の、もう片方のはくり紙を

気などをふき取る。

市販のカールプラグを打ち

込んで木ねじを使用してく

〈タイル壁など木ねじが使用できない壁の場合〉

た上で、電源コードの距離・取付板にガス検知部を引っ掛けるため

●コードレス電話

●背の高い木材家具

ガス検知部

(XL-692)

Ⅱ★ねじ

両面テープ

1cm 以上離す

取付板

取付板の裏側に

貼り付ける

固定ピン

19

■■ 施工される方へのお願いとご注意

●取り付け終了後に、必ず動作確認を行ってください。

施工説明【施工される方へ】

お願いとご注意

- ●このガス検知部は家庭用です。家庭用以外には使用しないでくださ
- ●ガス検知部の取り付けは、この施工説明に従って指定された取り付 けを行ってください。
- ●取り付け終了後に、P.23 「8-1 ガス検知部の説明」P.23 「8-2 お客さまへの周知事項」について、必ずお客さまに説明してくださ
- ●取り付け前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や 損害を未然に防止するために、必ずお守りください。注意事項は、 誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して います。

作業を誤った場合に、取付作業者および使用者が死亡 ★警告 または重傷を負う可能性が想定される内容を示してい

作業を誤った場合に、取付作業者および使用者が傷害 ▲ 注意 を負う場合または物的損害の発生が想定される内容を

⚠警告

- ●分解や改造はしないでください。 故障の原因となります。
- ●ガス検知部を落下させるなど、衝撃を与えないでください。 故障の原因となります。

⚠注意

- ●ガス検知部に耳を近づけて、警報音を聞かないでください。 聴力障害などの原因になります
- ●正しい取付位置に取り付けてください。

② コード振れ止めを壁面に固定する。

木ねじを使用して固定する。

④ ガス検知部を取付板に取り付ける。

ガス検知口から離して置いてください。

6 取り付け後の点検

6-1 初期動作の点検

確認してから行ってください。

緑(電源)ランプがゲート

ウェイ本体と無線通信確立

まで最大2分間ゆっくり点

※ 1:交換期限お知らせ機

能を解除している場

合は点滅します。

おねがい

⚠注意

滅*¹します。

をはがす

【接着だけで取り付けできない場合】

③ 電源コードをコード振れ止めにはめ込む。

- 取り付けてはいけない場所に取り付けると、警報の遅れ、誤動作 故障の原因になります。 ●ガス検知部の前、または周囲に物を置いたり、取り付けたりしな
- いでください。 警報の遅れの原因となります。

またゲートウェイ本体との無線通信が妨げられ、通信エラーなど の原因となります。

余った電源コードは、ガス検知の妨げにならないよう、ガス検知部の

必ず、ゲートウェイ本体の設置を済ませ、電源が入っていることを

20

① ガス検知部の電源プラグをコンセントに差し込む。

汚れをふき取る、

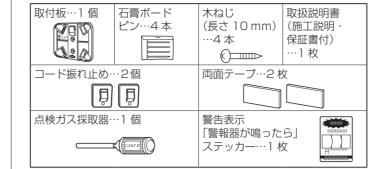
(10mm)

雷源コードを

はめ込む

2 施工前の確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。



2-2 保証書・警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカーへの記入

保証書の所定の欄に、販売店さまの名称・住所・連絡先を記入してく 警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカーの所定の欄に、販売店さま

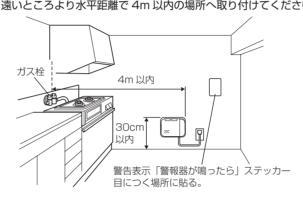
の名称と連絡先を記入してください。 警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカーは、お客さまの目につく場 所に貼ってください。

| 2-3 | 取付位置の確認|

取付位置については、お客さまとよく相談して決めてください。

〈正しい取付位置について〉

- ガスもれを検知しようとするガス機器を設置している場所と同一の 室内に設置すること。
- ガスもれが滞留しやすい位置、電源ランプの確認しやすい位置、容
- 易に点検できる場所へ取り付けること
- 床面から 30cm 以内の高さで、ガス器具や元栓(ガス栓)の最も 遠いところより水平距離で 4m 以内の場所へ取り付けてください。



② 電源を接続してから最大 2 分以内に、「ガス検知 緑(電源) ランプ

※ 電波強度(中)(弱)ですと条件によっては通信エラーを起こす

※ ゲートウェイ本体と無線通信が確立できなかった場合は、緑(電

※ ガス検知部が故障の場合は、「ピッピッピッ ガス検知部故障で

下記の要領でゲートウェイ本体との通信状態を確認することができま

② 約 10 秒後に、「ガス検知部正常です ゲートウェイ本体の電波が

受信できています」と鳴ります。その後、電波強度に応じて以下の

※ 電波強度(中)(弱)ですと条件によっては通信エラーを起こす

※ 通信エラーの場合は、①の動作後、②の動作はせず、約10秒

準備いただくもの: 点検ガス採取器(付属品)、ガスコンロまたはガス

21

場合がありますので、電波強度(中)(弱)の場合は販売店に連

後に、「ガス検知部正常です ゲートウェイ本体の電波が受信で

す」と鳴り、緑(電源)ランプが高速点滅します。

場合がありますので、電波強度(中)(弱)の場合は販売店に連

警報停止スイッチを押すと、「**ピッピッピッ ゲートウェイ本体**

点滅→点灯

部正常です ゲートウェイ本体の電波が受信で

きています」と鳴ります。その後、電波強度に

応じて以下の3種類の音が鳴り、緑(電源)ラン

プが点灯し、ガス検知部が監視状態に入ります。

電波強度(強):「ピーピーピー」

源) ランプが高速点滅します。

販売店に連絡してくださ

の電波が受信できません」と鳴ります。

| 6-2| ゲートウェイ本体との通信確認|

① 警報停止スイッチを1秒間押すと緑(電源)

ランプが点滅し「**ピッ**」と鳴ります。

3種類の音が鳴ります。

電波強度(弱):「ピー」

電波強度(強):「ピーピーピー」

電波強度(中): 「**ピーピー**|

きません」が鳴ります。

|6-3||ガス警報機能の点検

【電波強度】

【ガス採取方法】

ライター (市販品)

電波強度(中):「ピーピー」

雷波強度(弱):「ピー」

【電波強度】

〈取り付けてはいけない場所について〉 以下の場所には、絶対にガス検知部を取り付けないでください。

- 振動、衝撃の激しいところ。
- 温度が-10℃以下または 40℃以上になるところ。
- カーテンウォールなどで仕切られているところ。
- 警報が遅れる原因になります
- 給排気口、通路ドア付近などの風通しのよいところ、すきま風の入
- 警報が遅れる原因になります
- 台所設備などでさえぎられるところ。 警報が遅れる原因になります
- 浴室内、水のかかる場所、水滴がつく場所、結露する場所。 感電や電気的故障の原因になります。
- 屋外。
- ガス検知部に器物や煮こぼれ、水、油などが落ちるところ。
- **誤作動や故障の原因になります** ● 使用時しか電源を入れないところ(ビルなどの湯沸室で夜間電源を

ガス検知部としての機能を果たしません。

3 ゲートウェイ本体とのペアリングのしかた

ガス検知部・ゲートウェイ本体のセット品 (型式: XLR-62) を お買い求められたお客様へ

出荷時に、ペアリングされていますので、下記の手順を行うことは 不要です。次項「10取り付けかた」にお進みください。

⚠注意

⚠注意

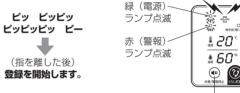
●ガス検知部を交換する際に、ゲートウェイ本体とのペアリングが 必要となります。

下記の要領でガス検知部とゲートウェイ本体を無線通信による接続(ペ アリング)をします。 この設定は、ゲートウェイ本体の設置を済ませてから行ってください。

① ゲートウェイ本体をペアリングモードにする。

〈電源がすでに入っている状態でペアリングする場合〉 ゲートウェイ本体の点検/警報停止スイッチを約10秒間押し続け、 「ピッ ピッピッ ピッピッピッ ピー」音が鳴った後に、点検/ 警報停止スイッチから指を離します。 緑(電源)ランプ、赤(警報)ランプが点滅し、「登録を開始します」

と鳴り、ペアリングモードに入ります。



●付属の点検ガス採取器以外は、絶対に使用しないでください。

●採取したガスは、ガス警報機能の点検以外には使用しないでください。

●アルコールを主成分とした点検ガスおよびライター式の点検ガス

●ガスライター(市販品)のガスを直接、点検口にかけて、ガス

炎の高さは

5cm 程度に

調節

③ 容器の圧縮をゆっくり(約3秒程度)ゆるめ、炎の中からガス成

点検ガス採取器の先端を点検口の中に差し込まないでください。

22

●採取したガスを体内に吸引しないようご注意ください。

吸引しますと、中毒症状を起こす場合があります。

●ガスを採取した直後の採取管は、

採取管を長時間加熱しないでください。

やけどをしたり、ガス採取器が破損

(生ガス)は、使用しないでください。

センサ異常またはセンサ故障の原因になります。

センサ異常またはセンサ故障の原因となります。

絶対に触らないでください。

するおそれがあります。

点検をしないでください。

① ガスコンロまたはガス

ライター(市販品)な

どを点火し、炎の高さ

を約 5cm に調節する。

②点検ガス採取器の容器

部分を十分圧縮して、

採取管の先端を炎の内

炎部(青い部分)に持っ

④ 採取管の先端部分の温

度が下がるまで(約

30 秒程度) 待った後、

点検口にゆっくり(約

3 秒程度) ガスを注入

故障の原因となります。

⑤ 赤(警報)ランプが点灯して

警報音が鳴れば、正常です。

※ ガスを注入しても、警報を

発しない場合は、もう一度

同じ作業を行ってくださ

それでも警報を発しない場

合は、ガス検知部の故障が

考えられますので、別のガ

ス検知部とお取り替えくだ

ていく。

する。

⚠注意

さい。

分を吸引する。

点検/警報停止スイッチ 16

外炎(赤い炎部分)

ガス採取器

点検口

緑(電源) 赤(警報)

ランプ点灯 ランプ点灯

, ゆっくりガスを注入

ウーウー

ピッピッピッピッ

ガスがもれて

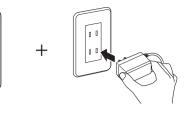
いませんか

′内炎(青い炎部分)

グをコンセントに差し込みます。 その後、3秒間点検/警報停止スイッチを押し続けた後に点検/警報 停止スイッチから指を離すと、緑(電源)ランプ、赤(警報)ラン プが点滅し、「**登録を開始します**」と鳴り、ペアリングモードに入 ります。

ゲートウェイ本体の点検/警報停止スイッチを押しながら電源プラ

(電源が入っていない状態からペアリングする場合)



② ガス検知部をペアリングモードにする。

〈電源がすでに入っている状態でペアリングする場合〉 ガス検知部の警報停止スイッチを約10秒間押し続け、「ピッピッ **ピッ ピッピッピッ ピー**」音が鳴った後に、警報停止スイッチか 緑(電源)ランプ、赤(警報)ランプが点滅し、「登録を開始します」

と鳴り、ペアリングモードに入ります。 ピッ ピッピッ ピッピッピッ ピー

(指を離した後) 登録を開始します。



〈電源が入っていない状態からペアリングする場合〉 ガス検知部の警報停止スイッチを押しながら電源プラグをコンセン

トに差し込みます。 その後、3 秒間警報停止スイッチ を押し続けた後に警報停止スイッ チから指を離すと、緑(電源)ラ ンプ、赤(警報)ランプが点滅し、 「登録を開始します」と鳴り、ペ アリングモードに入ります。

③ ペアリングが完了すると「**登録が完了しました**」と鳴り、初期タイ マー動作後に監視状態に入ります。

登録が完了しました 緑(雷源) 赤(警報 緑(電源) ランプ点灯 ランプ点灯 ランプ点灯 赤 (警報) 登録が ランプ点灯 完了しました

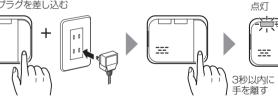
17

出荷時、交換期限お知らせ機能が働いています(ガス検知部の交換期 限を過ぎたことを、緑(電源)ランプのゆっくり点滅でお知らせする 機能を解除する場合は、警報停止スイッチを押しながら電源プラグを

緑(電源)ランプが点滅してガス検知部のお知らせ機能が無しになり 監視状態に入ります。

※ 機能有りに戻す場合は、同じ手順を繰り返してください。機能の変

更(有り・無し)は何度でも可能です。



8 お客さまへの説明について

の説明を行い、ご理解を得てください。

- ① 警報動作および点検結果の説明。
- ③ 取扱説明書の保管のお願い。
- ④ 取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
- 2. 部屋の外にいて、警報に気づいたときにとるべき処置の説明。
- 3. ゲートウェイ本体との通信の説明。

- ●交換期限切れ音声機能

8-2 お客さまへの周知事項

① ガス検知部の交換期限のお知らせ(本体に表示)。

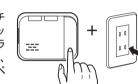
- ② 保証書を必ず読んで内容を理解した上で取り扱うこと。
- ③ 警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカーに記載の緊急連絡先のお
- ⑤ ガス検知部の分解禁止。

⑦ 故障・異常時の連絡先。 23

- ② 取扱説明書を必ず読んでいただくことのお願い。
- 1. ガス警報の内容(赤(警報)ランプ点灯、警報音の確認)と、警 報時にとるべき処置の説明。
- 4. 誤報が発生する原因と処置の説明。

- 5. 異常発生時(故障)の内容(緑(電源)ランプ高速点滅と音声合
- 成音の確認)と処置の説明。
- 6. 警報停止スイッチの説明。 ●機器故障音声機能
- ●通信エラー音声機能

- ④ ガス検知部の移設禁止 (移設依頼時の連絡先)。
- ⑥ 引っ越し時の処置。



7 交換期限お知らせ機能を解除する場合

コンセントに差し込んで、3 秒以内に警報停止スイッチを離してくだ

警報停止スイッチを押しながら 電源プラグを差し込む

緑(電源)ランプ

お客さま立ち会いのもとでの点検が終わったら、必ずお客さまに以下

8-1 ガス検知部の説明